

**平成 2 2 年度概算要求における
科学技術関係施策の
優先度判定等について**

平成 2 1 年 1 2 月 9 日
科学技術政策担当大臣
総合科学技術会議有識者議員



平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針の概要

鳩山内閣の「基本方針」
(平成21年9月16日)

平成22年度予算編成の方針について
(平成21年9月29日閣議決定)

国連気候変動サミットにおける鳩山総理演説
(平成21年9月22日)

資源配分方針等の見直し
【グリーンイノベーションへの重点化】

①基礎研究、②科学技術振興の基盤、③人材育成等を強化する方針を改めて堅持

新たな資源配分方針

◎ 最重要政策課題：環境と経済が両立する社会を目指すグリーンイノベーションの推進

一 「全ての主要国による意欲的な削減目標の合意を前提として、温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減する」目標の達成を目指し、革新的な環境・エネルギー技術で世界をリード。あわせて研究開発成果の実利用・普及を強力に推進するための社会システムの転換を図り、「グリーンイノベーション」を推進

- ① エネルギー効率の高い技術の世界的普及の促進
- ② 太陽電池等の革新的技術の更なる加速
- ③ 新たな科学的・技術的知見の「発掘」と「統合」によるブレークスルー技術の研究開発

◎ 重点的に推進すべき課題

一 内閣の「基本方針」である「人の命を大切に」、「活力ある農山漁村の再生」、「医療・介護・環境など新たな分野における産業と雇用の創出による内需主導型の経済成長の実現」、「世界の平和と繁栄を実現」の課題解決に向けた科学技術施策を重点的に推進

- ① 健康長寿社会の実現
- ② 地域科学技術施策の推進
- ③ 社会還元加速プロジェクトの推進
- ④ 革新的技術の推進
- ⑤ 科学技術外交の推進

◎ 最重要政策課題や重点的に推進すべき課題のための基盤的課題

- ① 基礎研究の強化
- ② 人材育成の強化
- ③ 知的財産への対応の強化

資源配分方針に基づくメリハリのある優先度判定等の実施・意見具申

我が国経済の中長期的な発展と国民生活の向上

国民の期待に応える科学技術予算



本年より試行した予算編成プロセスの透明化の取組

1. パブリックコメントの実施

各府省が概算要求した優先度判定等の対象となる科学技術関係施策の事業についての事業概要を内閣府ホームページに掲載し、国民から意見を募集、その結果をホームページに掲載

→ 事業に対する国民の期待、意見を募集し、優先度判定等に反映

2. 府省全体ヒアリングのプレス公開

各府省の概算要求方針の基本的考え方、総合科学技術会議の方針である最重要政策課題への対応状況に関するヒアリングをプレス公開

→ 各府省の科学技術関係施策についての基本的考え方等を国民に発信

3. 個別施策ヒアリングのプレス公開

各府省の科学技術関係施策の具体的取組内容についてヒアリングし、優先度等を判断するための質疑過程をプレス公開

→ 各府省の科学技術関係施策の詳細、優先度判定等の根拠となる議論内容を国民に公開することで、透明性を確保

4. 優先度判定等の審議過程(途中段階、決定)の公表

優先度判定等について有識者議員が議論、調整する全体調整会議の資料について、原案段階からプレス公表し、ホームページにも掲載

→ 優先度判定等の判定の主担当有識者議員名を明示し、原案と最終結果を公表することで、審議過程、判定の透明性を確保



パブリックコメント結果(概要)

1 意見募集期間

平成21年11月17日(火)～11月24日(火)12:00
※ 郵送については、11月24日(火)中に必着

2 意見提出数

属性	提出数
研究者	1,964件
会社員	512件
団体職員	135件
公務員	77件
未記入その他	561件
合計	3,249件

提出数合計 3,249件
うちインターネット:3,180件
うちFAX:67件
うち郵送:2件

施策別意見数合計 4,926件
※ 複数の施策に関連するご意見を頂いている場合もあるため、提出数と、意見数は一致しない。

所管府省名	意見数
内閣府	15件
警察庁	0件
総務省	204件
外務省	5件
文部科学省	4,082件
厚生労働省	165件
農林水産省	67件
経済産業省	256件
国土交通省	30件
環境省	91件
無記入その他	11件
合計	4,926件

3 頂いた意見の概要

○意見の傾向

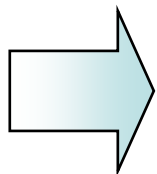
対象施策の推進(予算の増額・現状維持等)を求めるものが意見の中心。推進を求める場合でもその運用の見直し(事業の効率化等)を求めるものもあった。

○意見提出者と対象施策との関係

意見対象施策と関係のある方(研究に参加されたり、研究成果を活用される研究者・会社員等)からの意見提出が中心。

○研究者以外の方の関心が比較的高い施策

健康に関係する施策(「免疫・アレルギー科学総合研究事業」、「重粒子線がん治療」、「難治性疾患克服研究分野」、「子供の健康と環境に関する全国調査」等)。
意見の多くは施策の推進を求めるもの。



寄せられた意見は、科学技術関係施策の優先度判定等に活用するとともに、パブリックコメントを一般に公表し、既に公表している各府省の施策に関する情報と、この優先度判定等の結果を比較することを可能にすることで、科学技術関係予算の形成過程の透明化を図る



総括的見解(概要)

科学技術政策担当大臣及び有識者議員は、個別の科学技術関係施策の優先度判定等を実施するに当たり、各府省に共通する事項についても総合的見解のとりまとめを実施。

科学技術関係施策に関する予算編成にあたって考慮すべき事項

- 「費用対効果等のコスト意識」＋「長期的に科学技術をいかに振興していくかという視点」
 - 「科学技術で世界をリードする」という方針の実現
我が国の中長期的な発展と国民生活の向上
- ⇒ 限られた予算等の資源を優先的に投入

最重要政策課題への重点化

- 最重要政策課題（環境と経済が両立する社会を目指すグリーンイノベーションの推進）への概算要求の重点化を評価

各府省に共通する事項(主なポイント)

各府省で実施されている類似施策の整理・統合の検討の必要性

- 国の政策課題を実施する研究を支援するトップダウン型の競争的資金→必要に応じて整理及び統合することを検討。
- 各府省の類似している施策（特に地域科学技術振興施策及び産学官連携施→必要に応じて類似施策の整理及び統合を検討。

府省連携の一層の推進

- 研究開発における府省連携の一層緊密化＋研究開発段階から実利用を視野に入れた規制担当府省との連携強化。
- 総合科学技術会議としても、今後一層各府省の連携緊密化のため活動。

施策についての丁寧な説明

- 施策の達成目標・事業内容について、国民に対してもわかりやすく丁寧に説明することが重要。

科学技術関係施策の効率的な推進

- 研究開発の動向や社会ニーズ等の施策を巡る情勢の変化を踏まえて不断に自ら実施する施策の必要性を見直すことが必要。
- 効率的な事業実施の観点から、事業実施に関与する公益法人や人材等の体制等について不断の見直しが必要。



最重要政策課題への重点化の推進の概要

最重要政策課題(グリーンイノベーション)への重点化

**最重要政策課題全体の概算要求額は対21年度比27%増となっており、
科学技術関係予算全体の3.5%増と比較すると、重点化が図られている**

課題例

(単位:百万円)

優先度判定等		施策名	所管	概算要求額	前年度予算額
S	新規	超高速光エッジノード技術の研究開発	総務省	630	0
S	新規	新エネルギー技術研究開発(太陽光発電システム次世代高性能技術の開発)	経済産業省	4,411	0
S	新規	蓄電複合システム化技術開発	経済産業省	6,430	0
S	新規	次世代型ヒートポンプシステム研究開発	経済産業省	400	0
S	新規	低炭素社会を実現する新材料パワー半導体プロジェクト	経済産業省	2,000	0
S	新規	農林水産分野における地球温暖化対策のための緩和及び適応技術の開発	農林水産省	767	0
S	新規	二酸化炭素回収技術高度化事業(日米共同研究)	経済産業省	180	0
S	新規	先端的低炭素化技術開発	文部科学省	3,500	0
優先	継続	省水型・環境調和型水循環プロジェクト	経済産業省	1,400	1,172
優先	継続	環境調和型製鉄プロセス技術開発	経済産業省	1,000	1,120
優先	継続	グリーンITプロジェクト	経済産業省	4,000	5,000
優先	継続	ITER計画(建設段階)等の推進	文部科学省	10,000	11,088
優先	継続	21世紀気候変動予測革新プログラム	文部科学省	1,640	1,540
優先	継続	衛星による地球環境観測	環境省	696	631



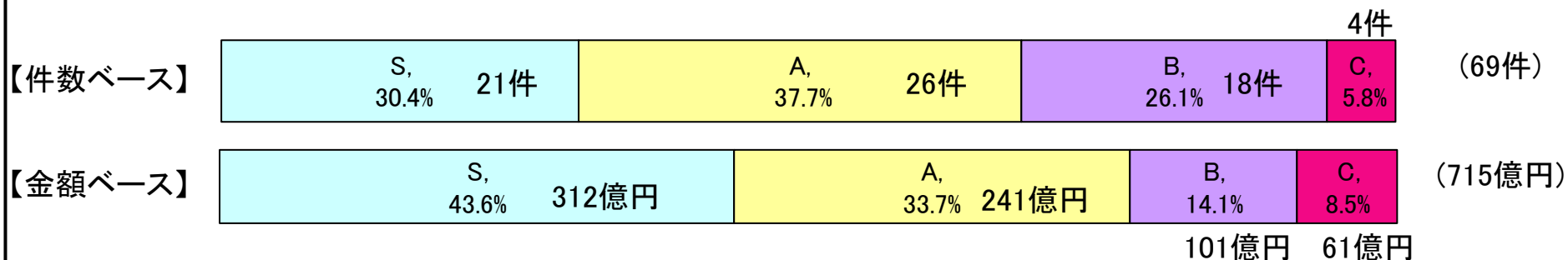
優先度判定等の特徴

○最重要政策課題に施策を集中

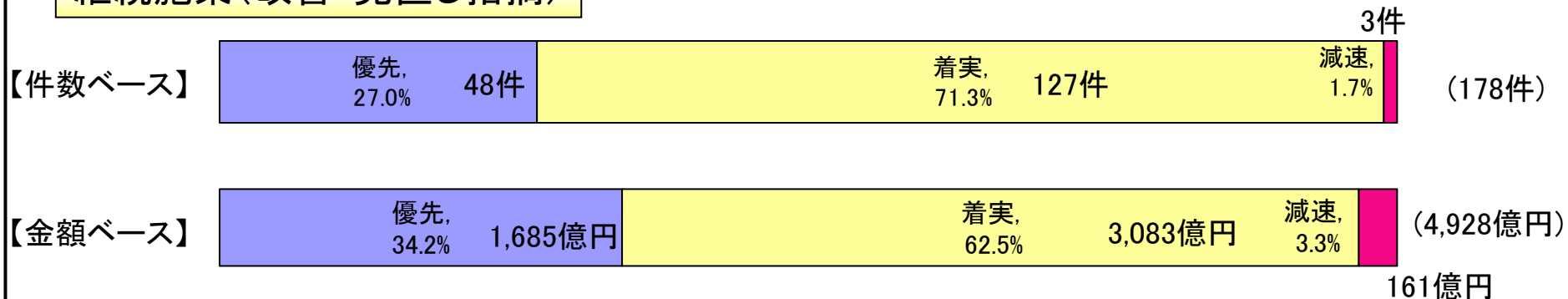
(S施策の62%、優先施策の33%(件数ベース))

○昨年度A+Bが90%(件数ベース)を占めていた優先度判定のバランスを改善し、S(30%),A(38%),B(26%)(件数ベース)と均衡化した。

新規施策(優先度判定)

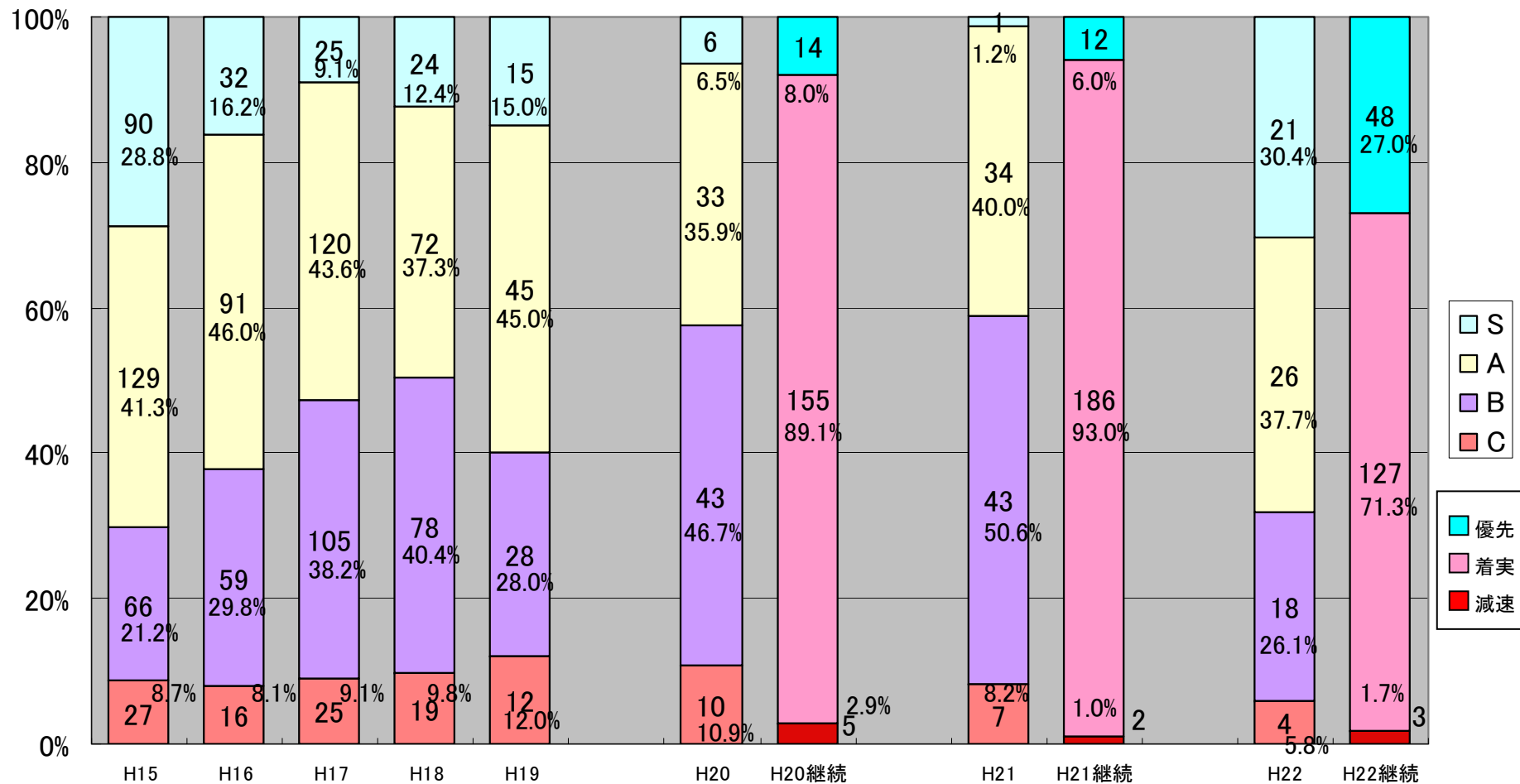


継続施策(改善・見直し指摘)





SABC割合等の経年変化





最重要政策課題(グリーンイノベーション)の主な施策の概要

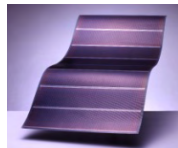
太陽電池等の革新的技術の更なる加速

新エネルギー技術研究開発 (太陽光発電システム次世代高性能技術の開発) (経済産業省)

・太陽光発電導入規模を2020年に20倍にするための技術開発



結晶シリコン型
太陽電池



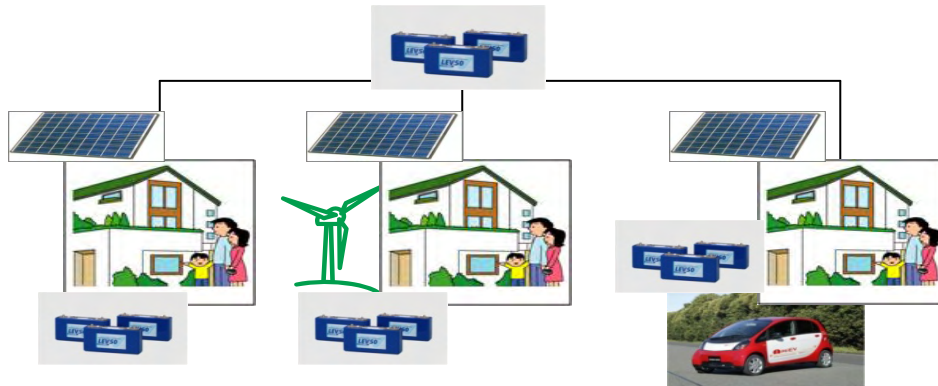
薄膜シリコン型
太陽電池



CIS系薄膜
太陽電池

蓄電複合システム化技術開発(経済産業省)

・太陽光発電等の急速な導入拡大を踏まえ、エネルギーの効率的・効果的利用に不可欠な蓄電システムの開発



エネルギー効率の高い技術の世界的普及の促進

日米エネルギー環境技術研究・標準化協力事業

(経済産業省)

・日米の研究機関の国際共同研究・標準化協力によるエネルギー環境技術の迅速な確立・普及を図り、温室効果ガス削減に寄与



新たな科学的・技術的知見の「発掘」と「統合」によるブレークスルー技術の研究開発

先端的低炭素化技術開発(文部科学省)

・温室効果ガス削減に大きな可能性を有する新技術の発掘、新原理の創出を推進するとともに、科学的・技術的知見の統合によりさらに大きなブレークスルーを図る



重点的に推進すべき課題の例

	優先度判定等	施策名	所管
健康長寿社会の実現	S	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	環境省
	S	感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	文部科学省
	S	がん超早期診断・治療機器総合研究開発プロジェクト	経済産業省
	A	アグリ・ヘルス実用化研究促進プロジェクト	農林水産省
	優先	臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究)	厚生労働省
地域科学技術施策の推進	着実	研究成果最適展開支援事業	文科省
	着実	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	農水省
	A	中小企業等の研究開発力向上及び実用化推進のための支援事業	経産省
社会還元加速プロジェクトの推進	優先	再生医療の実現化プロジェクト	文部科学省
	優先	災害リスク情報プラットフォーム	文部科学省
	優先	エネルギーITS推進事業	経済産業省
	優先	生活支援ロボット実用化プロジェクト	経済産業省
	優先	地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発	農林水産省
	優先	自動音声翻訳技術の研究開発	総務省
革新的技術の推進	優先	新エネルギー技術研究開発(太陽光)	経産省
	優先	次世代ロボット知能化技術開発プロジェクト	経産省
	優先	臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究)	厚生労働省
	優先	元素戦略	文科省
科学技術外交の推進	S	日米エネルギー環境技術研究・標準化協力事業	経済産業省
	優先	地球規模課題に対応する科学技術協力	外務省・文部科学省
	優先	研究協力事業	経済産業省

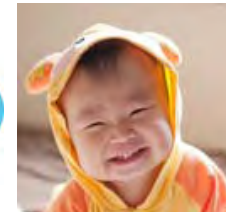


重点推進課題(健康長寿社会の実現)の主な施策概要

子どもの健康を守る大規模調査研究

○子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)(環境省)

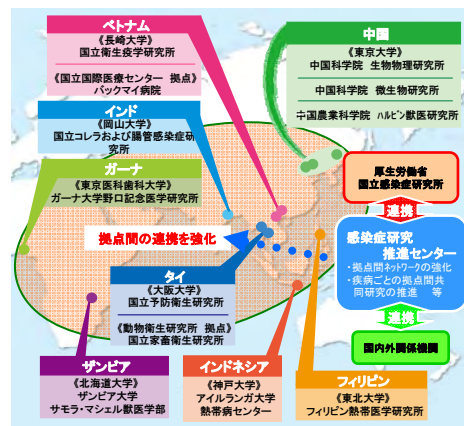
- ・急増している先天奇形、発達障害やアトピーなど子どもの疾病と環境要因の関係を解明
- ・未来を担う子どもたちの成長を守る環境を構築し、豊かな日本を実現
- ・母子10万組の生体試料バンクを形成するとともに、多様な研究開発を追加



地球規模の感染症・病原体研究

○感染症研究国際ネットワーク推進プログラム(文部科学省)

- ・アジア・アフリカの8カ国に整備した海外研究拠点を活用し、感染症対策に資する研究開発、基礎的知見の集積、人材育成等を実施



いのちを守る最先端医療機器開発研究

○がん超早期診断・治療機器総合研究開発プロジェクト(経済産業省)

- ・がんの特性や患者の体質に合わせた最適ながん対策を実現するため、がんの超早期診断・治療等を総合的に推進する研究開発

